



Go Playing Fellowship
of Rotarians

ロータリー囲碁同好会

NEWS LETTER

<http://www.gpfr.jp>

No. 20

2012年5月15日 発行

常勝韓国から6年ぶりに栄冠奪還

第13回ロータリー神戸国際囲碁大会

囲碁新名人に伴仲七段、初級に日下七級



第2680地区大会の公式行事として開催した今回のロータリー国際囲碁大会の表彰式は、懇親会場の壇上で行われ、初優勝した京都・綾部 RC の伴仲博司七段(右から4人目)は日韓台の大会役

員より祝福を受けました。右から2人目は中級者優勝の韓国・李明雨四段(神戸市で2012・3・4)

2

上段左は初級者優勝の日下氏。右は開会式で挨拶する久野薫ガバナー
中段左は6人と多面碁対局の佐々木毅六段。右は日韓台との懇親晩餐会
下段は35人が参加登録した日本チームの方々と表彰式前に慌ただしく記念撮影



< 第13回ロータリー国際囲碁大会結果 >

於神戸市・2012年3月4日

上級者クラス（五段以上）		中級者クラス（三段～四段）	
優勝	伴仲博司七段(綾部)	優勝	李 明雨四段(韓国・大邱囲碁)
準優勝	鄭 然吉五段(韓国・大邱囲碁)	準優勝	永田博巳三段(加古川平成)
3位	花田 寛六段(福岡城南)	3位	李 銓基四段(韓国・大邱囲碁)
4位	蔡 振松五段(台湾・大園)	4位	杉原敏雄四段(豊橋ゴールド)
初級者クラス（二段以下）		国別対抗戦（上級者）	
優勝	日下将孝7級(福島中央)	優勝	日本
準優勝	呉 明田2級(台湾・板橋)	準優勝	韓国
3位	小原 進 3 級(大阪柏原)	3位	台湾
4位	游 長和初段(台湾・大園)		

久しぶりの快進撃に沸く会場

地区大会場で石井新会長デビュー

日韓台の同伴家族には市内観光も

ロータリー囲碁同好会（GPFR）主催の「第13回ロータリー国際囲碁大会」は3月3日（土）と4日（日）の両日、神戸市ポートアイランドのポートピア神戸ホテルで行われ、奮闘及ばず苦い結果を味わってきた日本チームがこれまでの鬱憤を晴らすような圧勝で終わりました。この大会で GPFR 国際役員のプロップに就任した石井良昌会長（尼崎西）に、この上ないプレゼントとなりました。

大会は2000年3月からロータリーに因んで日、韓、台の順番に会場を移し、GPFR 会長も交代してきました。名誉会長の田中毅 PDG（尼崎西）が初代会長で、台湾の楊敏盛 PDG（桃園）が二代目、韓国の李在允 PDG（大邱東進）が三代目で、石井会長は四代目となります。任期は2011年7月から3年間で、この国際囲碁大会が新会長のデビューとなりました。

しかも、新会長の地元であり、またこの大会は第2680地区大会の公式行事としての開催とあって、ここ数年間続いている韓国の全クラス優勝という不名誉にしなければ、との弱気の声も聞こえていました。

今回の大会参加登録者は日本35人、韓国11人、台湾14人となりましたが、大会

の囲碁対局者は日本 31 人（女性 1 人）、韓国 8 人（女性 1 人）、台湾 5 人に留まりました。多くは同伴の家族で台湾は 9 人、韓国は 1 人。ただし、韓国はプロ棋士の庾昊旻六段が同行していたため指導碁に加わって頂き、また優勝経験のあるアマの玄哲永六段は韓国支部長代理での出席との理由で競技には参加されませんでした。

大会は 3 日午後 2 時 30 分から、第 2680 地区大会の会場となった神戸ポートピアホテル地下 1 階の布引の間で開会式が行われ、石井新会長の記念点鐘で始まりました。

国歌斉唱と RC ソングのあと、田中名誉会長から来賓の紹介、新藤信之日本支部長（東京立川こぶし）が歓迎の挨拶、GPFR 顧問となった会長経験者の李、楊両氏の答礼の挨拶に続いて、台湾のエバーグリーン航空総帥の游長和・台湾支部長が「この大会で台湾はロータリー囲碁世界チャンピオンの座を奪い取るために、沢山の家族を連れて来日した」と勇ましい挨拶をされ、盛んな拍手をもらっていました。

会場には、地区大会の主役である久野薫ガバナーも忙しいスケジュールの中を駆けつけて頂いて、お祝いの挨拶の中で「地区としても第 13 回という伝統を築きつつある GPFR の活動を公式行事として支えて行きたい」と述べて、今後の支援の約束をして頂きました。

大会実行委員長の永田博巳三段（加古川平成）から、前回の神戸大会通り上級者はスクラッチ、他の 2 クラスはハンデ戦、コミ六目半とのルール説明があり、さらに関西棋院の佐々木毅六段を紹介して、トラブルがあれば全て佐々木六段の裁断によって勝敗を決定する旨を参加者に伝えました。

午後 3 時 30 分から 2 回戦で行う予選がスタート。6 時に歓迎晩餐会が予定されているため、各局とも 1 時間前後で終結したい主催者でしたが、これが難事でした。

静かな中で、対局者は碁盤上の戦いで火花が散り、永田実行委員長も長年のライバルである韓国チームの強豪相手に碁盤に集中して長考。私も余裕はなく、経過時間を会場内に伝え、勝敗表を回収、対局者の選定などは、審判長の佐々木六段お一人に任せきりとなりました。

この佐々木六段のお人柄か、時間超過になっても苦情も聞かれず、3 局を終了したら随時に晩餐会場に移動するという即席のルールが役立ちました。ホテル最上階で神戸の夜景を堪能するという晩餐会は、懇親の輪を広げて撮影会と乾杯の交歓会にかかわって和やかに運びました。

白熱したトーナメント戦に

大会 2 日目の 4 日は、午前 10 時に同ホテルの大ホールで開く地区大会オープニングセレモニーに家族も含めて大会登録者全員で参加しました。

大会場では参加クラブ紹介のあと、特別参加者として韓国、台湾、そして日本チームの紹介があり、全員で手を振りながら起立して、会場から歓迎の拍手を受けました。

30 分後に、布引の間で 3 回戦目の予選が前日の続きで 1 戦のみ行われて、対局場の隣に昼食会場がセットされていて、予選を終えた人から順次、用意された懐石弁当

を頂きました。この昼食時に、永田実行委員長と佐々木六段が予選3戦の結果から、3クラスの上位8人を決定するのです。

午後1時に決勝トーナメントが始まり、各クラスの勝ち残り組は以下の通り。

上級者クラスの8人は日本5人（大島達治五段、大塚和彦五段、金澤拓平五段、花田寛六段、伴仲博司七段）、韓国2人（鄭然吉六段、李在允六段）、台湾1人（蔡振松五段）。韓国の2人はともに「ロータリー囲碁チャンピオン」を2度獲得している常連です。

中級者クラスは日本6人（浅倉修三段、陰山玄三男三段、梅田英樹三段、永田博巳三段、木塚烈男四段、杉原敏雄四段）、韓国2人（李銓基四段、李明雨四段）。

初級者クラスは日本3人（日下将孝7級、小原進3級、水野雅生初段）、韓国1人（鄭宗謨初段）、台湾4人（陳祥來5級、楊敏盛3級、呉明田2級、游長和初段）。

初級者クラスは、目を疑いました。日下7級は初出場ながら、あれよあれよと勝ち上がり、優勝者の第一声を挙げました。被災地の福島からの出場で、対局者が同情したのかと思いきや、これが反対で「強すぎる」「しぶとい」との評。次回は3級で登録をお願いします。

中級者クラスは大混戦でした。永田実行委員長は韓国の強豪2人に挟まれながら見事に準優勝に、杉原四段は読み間違いから惜しくも賞品を逃してしまいました

見事なのは、上級者クラスの伴仲七段と花田六段。中でも、花田六段は前回優勝の李在允六段を準々決勝で破り、伴仲七段に決勝進出を阻まれたものの、3位決定戦で台湾のエース、蔡五段も打ち負かして賞賛を浴びました。伴仲七段は参加者最高位として初参加し、韓国常連の鄭然吉六段を難なく破っての堂々の優勝に。会場からは日本の6年ぶりの上級者優勝に、驚きと喜びの喚声が響き渡りました。

優勝盾は地区大会檀上で授与

午後6時に地区大会閉幕の懇親会が始まり、大音響の大会場の檀上に石井会長を中心に日韓台の大会役員が並び、優勝者の表彰式が行われました。

日下7級は帰郷を急ぐため、懇親会の前に囲碁会場で優勝賞品の盾を李在允前会長から授与されました。檀上に上った伴仲七段と李明雨四段は、会場の700人から祝福を受けて栄誉の授与式が行われ、興奮の様子。翌日、早速に入賞者の所属クラブに対し、速報ファックスを送信しました。

この大会で、忘れてはいけないことが多々あります。地区大会の公式行事としての大会だったため、2680地区の国際奉仕委員会を中心に全面支援を頂いて、中でも水谷重康国際奉仕副委員長、富本東平親睦活動小委員長には多くのご苦勞をお掛けしてしました。

また、4日午後1時から5時の予定で、同伴家族を招いてバスでの市内ツアーも企

画されていて、石井会長夫人や井上規代子さん（加古川平成）、清川高文氏（尼崎西）は孫文記念館、舞子プロムナード、人と防災未来センター見学に案内役を務めて頂きました。

また、囲碁会場では4日午後のトーナメント戦に加わることでできなかった方々に多面碁が用意され、佐々木六段と韓国の庾炅旻六段の両プロ棋士にご協力を頂きました。プロ技は、やはり凄い一言です。恐れ入りました。

GPFR 理事の木村平右衛門さん（東京）には、開会式で突然の司会者を依頼しました。私は写真係と記録係の任務があったためですが、彼の司会もプロ技でした。

さらに、金澤拓平五段（東京青山）から韓国と台湾の参加者にお土産を用意して頂き、水野雅生初段（東京銀座新）は昨年5月の台湾大会のDVDを会場で披露され、台湾の楊、游両大人に大いに喝采を受けました。

仙台 RC の元会長、大島達治五段は1年を迎える東日本大震災の復興状況を自らまとめ、その冊子を会場で配布されました。

また、私はこの大会直前に、台湾からの被災地への寄付額が他国を大きく上回る170億円にのぼることを耳にして、日本語のわかる楊元会長に「貴国の励ましに感謝します」と思わずお礼を述べましたことを、ご報告致します。

大会幹事 太田清文（東京）

来春は韓国・大邱市で

韓国の玄哲永・支部長代理（六段）は3月3日の神戸国際大会開会式で、次回国際大会は韓国第三の都市である大邱（テグ）市で開催すると発表しました。時期については「桜が美しい時にしたい」と述べ、2013年3月から4月を予定していることを明らかにしました。

大邱市は李在允前会長（六段）の地元であり、世界で唯一の囲碁ロータリークラブである「大邱囲碁 RC」があつて、いわば敵地に乗り込むこととなります。次回は韓国で5回目の開催となり、大邱開催は第5回と第8回に続いて3回目となります。

これまで日本チームは釜山（プサン）空港で現地集合し、チャーターバスで慶州観光などして、週末の2泊3日の旅行を楽しみました。大邱囲碁 RC から女性だけのロータリー囲碁クラブを独立させるという話もあつて、強豪の女性ロータリアンとの対局も楽しみの一つです。日程が具体化しましたら、「ロータリーの友」や各クラブ宛ての案内状等でお知らせいたします。



表彰式まで会場に残った日韓台の参加者とその家族の皆さん。台湾チームは5人の同伴者に。



予選から会場は熱気で外の寒さ忘れて…



地区大会開会式に参加して紹介を受けました



新藤支部長から中級者2位の盾を受ける
永田大会実行委員長



韓国の庾炅旻プロ六段も多面碁の指導を

秋の全国囲碁大会のご案内

「第11回ロータリー全国囲碁大会」を下記のとおりで開催いたします。大会参加をご希望の方は、同封の振込用紙に本紙末尾に記載のご案内の要領でお名前等を明記して、FAX(03-3452-1652)にてご連絡ください。ご連絡を受けましたら、日本支部よりFAXで返信致します。初心者の方、またご家族のご参加も歓迎します。クラブ対抗戦も行います。お問い合わせも上記FAXにお願い致します。

GPFRはRI認証団体ですので、大会参加はメイクアップとなります。

<記>

日時	2012年10月20日(土) 10時開会 17時まで
登録受付	午前9時30分より 10時開会式
会場	東京・市谷の日本棋院会館1階
登録料	7000円(賞品4位まで、昼食等を含みます)

年会費納入のお願い

ロータリアンの囲碁仲間をGPFRにお誘いください。新規入会のお申し込みは、ご本人の地区、クラブ、氏名、年齢、級段位、紹介者を明記して所属のクラブ事務局を通じてFAXで下記のGPFR日本支部宛に送信をお願いいたします。年会費2000円。入会金はありません。GPFR活動、会則についてはGPFRのホームページ<http://www.gpfr.jp>をご覧ください。

12-13年度の年会費を、同封の郵便振替用紙(口座番号00100-0-427835 ロータリー囲碁同好会宛)をご利用のうえ、通信欄に「2012-13年度会費分」と明記して6月末までに2000円をご送金ください。

また、2012年10月20日(土)に東京・日本棋院での「第11回ロータリー全国囲碁大会」にご参加ご希望の方は、同封の郵便振替用紙の通信欄に、これも「全国大会参加」と明記して大会登録料7000円を加えて事前に送金してください。大会申し込みの締め切りは大会直前の10月12日(金)。参加申し込みを受け取り次第、すぐに大会参加要領をFAXでお知らせ致しますので、ご自宅等のご連絡先のFAX番号等を必ずお書き添えください。なお、振込み手数料(100円)はご負担ください。

GPFRは皆様の会費で運営しておりますので、何卒、会員の増強と会費の納入のご理解とご協力をお願い致します。

〒104-0031 東京都中央区京橋 2-11-8 全医協連会館 1F 2580 地区ガバナー事務所内 ロータリー囲碁同好会 専用 FAX 03-3452-1652 日本支部長 新藤信之
--